

平成30年度 学校自己評価(実施)

武蔵野音楽大学附属高等学校

教育目標	建学の精神として「(和)のこころ」を、教育の方針として「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を掲げ、確かな技術の訓練、豊かな知識の吸収とともに、美を鋭く感じとることのできる感性と創造性を培う。さらに、変化の激しい社会の要請に柔軟に対応でき、協調性に富むすぐれた人格の育成を目指す。
実践目標	「3P主義」(礼儀:Propriety)、(清潔:Purity)、(時間厳守:Punctuality)の実践

評価の基準	
A	達成(9割以上)
B	概ね達成(7割以上)
C	普通(5割以上)
D	不十分(5割以下)

指導・実施計画		実施・評価・課題			
評価項目	指導・実施内容・方策	評価の指標	実施・達成状況等	達成度	次年度への課題・改善
1学習活動 (1)学習指導	・音楽科として特色ある教育課程を編成して、11科目の専門教科・科目を展開し、生徒の進路を保障する。指導は専任教諭のほか、附属高校の特色として大学教授等があたる。また、創立時より一般教科の必要性を強く打ち出し、週6日の授業を展開し、総合的な学習の時間を含め全105単位を履修する。	・音楽科の高校としての特色を十分に生かし、生徒の進路に対応した教育が展開されているか。	・きめ細かな専門教科、一対一の個人レッスンによる実技指導および一般教科指導を展開し、学習の成果及び実技の向上が得られた。	A	・専攻実技は早朝、放課後の練習を徹底させ、専門及び一般教科の予習、復習の習慣化を図る。
	・選択科目として、専門実技以外の科目選択できるように「ウインド・アンサンブル」「弦楽アンサンブル」「声楽アンサンブル」「ピアノ・アンサンブル」を設定した。	・教科の目標は達成できたか。	・各種アンサンブルを設定し、10月、3月の演奏会を通し、教科の目標は十分に達成できた。	A	・新たな演奏曲、発表形態について研究する。
2特別教育活動 (1)儀式的行事	・入学式、卒業式ともにバツハザールにおいて、本校の特色を生かし、パイプオルガンの奏楽、大学生によるファンファーレの演奏の後、厳粛な中に式を挙げる。また、始業式・終業式等の校長訓話において、本校の教育目標や「3P主義」の教育実践を示す。	・本校の基本理念の徹底を計るとともに、実行することの大切さが認識できたか。	・校長訓話等を通して、教育目標や「3P主義」の教育実践の徹底を図った。	A	・儀式的行事に対する臨み方を認識させ、その意義をさらに理解させる。
(2)学芸的行事 ①校外演奏会	・第22回目となる「在校生と卒業生によるコンサート」をプラームスホールにて開催し、在校生と卒業生による演奏を披露する。	・在校生及び卒業生の演奏が十分に披露できたか。	・ピアノ、フルート、サクソフォーンによる表現力豊かな演奏が披露できた。	A	・事前の準備・指導を徹底し、演奏の充実と技術の向上を図る
	②ミスフェスティバル	・本校の特色を十分に生かした文化祭を実施する。1年生はクラス発表とし、2・3年生は各自の実技専攻によるアンサンブルの発表とする。バツハザールをメイン会場とし、演奏のほか、発表・展示・演舞を披露する。	・研究発表及び演奏・演舞等について日頃の成果が十分に披露できたか。	・音楽科の特色を生かした発表及び演奏等が展開できた。また、生徒の専攻実技の向上にも結び付き、大きな達成感が得られた。	A

③ドリームコンサート	・パイプオルガン・混声合唱の演奏に続き、ピアノ・弦楽・金管・木管・打楽器・ウインド・声楽の各アンサンブルの発表を生徒の進行のもとに行う。	・日頃の授業の成果が十分に発表できたか。	・練習を重ねた結果、各発表とも立派な演奏ができ、達成感を十分に得ることができた。	A	・練習の効率化を図り、さらに充実した発表を求めていく。
(3)体育的行事 体育祭	・各係を中心に計画・準備を行い、5月2日に全11種目で実施する。1人2～4種目に出場し、大縄跳び、対抗リレー、綱引きにおいては、特に熱戦が予想される。また、新種目として、全員参加レクリエーションが加わった。	・事前準備や各係の役割をもとに、計画どおりに実施できたか。 ・怪我なくクラスの団結力が発揮できたか。	・体育・体育祭係のリーダーを中心に事前のしっかりした準備の中、クラス全員が力を合わせ、怪我もなく、熱戦のうちに終わることが出来た。最後の種目に保護者をまじえた種目を行い保護者、生徒、参加者全員が楽しんで終了できた。	A	学年の生徒数を考慮し、種目数と内容の充実を図りたい。
(4)旅行・野外活動的行事 ①校外学習	・集団行動に関する教育および自然に親しむことを目的に、1・3年次が5月に校外学習を実施する。各グループによる飯盒炊爨を行う中で、キャンプ場でのマナーも指導する。	・事前の計画に沿って各グループによる飯盒炊爨が展開できたか。そして、キャンプ場でのルールを守ることが出来たか。	・天候に恵まれ、学年間の交流もしっかり持つことができた。キャンプのマナーや片付け等、しっかり守ることが出来た。	A	・調理内容の更なる検討と充実を図りたい。
②修学旅行	・2年次の5月に実施し、古典芸術の体験および鑑賞を通して豊かな情操を育てるとともに集団行動を通じて社会性を養い、見識をより高める場とする。	・事前学習、体験学習および鑑賞を通して十分に成果が得られたか。また、集団行動を守ることができたか。	伊勢神宮(内宮)を参拝し、舞楽鑑賞をした後に、鳥羽市のミキモト真珠島を見学した。また京都ではグループ行動にて史跡見学をし、大阪ではUSJにて楽しく充実した時間を過ごした。最終日は、京都にて着物を着ての日本舞踊や三味線演奏といった貴重な体験をした。	A	1年次よりの準備と添乗員との打ち合わせを綿密にすることが重要。また集団行動の大切さと各自の日常的生活態度を今後も秩序正しく指導していきたい。
(5)鑑賞行事 ①芸術鑑賞	・7月に国立劇場にて歌舞伎「日本振袖始」を鑑賞する。事前指導を徹底し、日本芸能史から、今回の台本の内容まで、歌舞伎全般に関して学習させる。	・事前学習を含め、作品の内容と、歌舞伎の歴史を理解できたか。	・事前学習として、歌舞伎台本の一部の音読・通釈・鑑賞をおこなった。内容を把握して鑑賞させることができた。	A	・今後も、事前学習を丁寧におこない、分析的に鑑賞できるよう指導していきたい。
②音楽鑑賞	・12月に武蔵野音楽大学管弦楽団・合唱団演奏会を鑑賞する。鑑賞マナーについても事前に指導する。	・作曲家と作品が十分に理解できたか。	一流の演奏者の音楽表現と楽曲を仕上げていく過程が理解できた。	A	鑑賞マナーについても事前に指導する

3 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健全育成及び基本的な生活習慣の確立の視点に立ち、定期的に登校指導、交通街頭指導、放課後の巡回、携帯電話(スマートフォン)の使用ルールについて指導する。 ・生徒による週番活動は、年間10回実施し、昼休みと放課後に教室を巡回するとともに練習室の清掃を行う。また、エコに対する指導も実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたルールに則り高校生活を送れているか。 ・教室の整理整頓や練習室の使用について意識の向上が図られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話・スマホの使用についてのルールを強化した。その結果、生徒もよくルールを守ることができた。 ・週番活動により教室の整理整頓や練習室の使用について意識の向上が図られた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、使用法について注意を図る。 ・清掃やエコに対し意識の向上を図る。
4 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査を踏まえて進路相談を実施する。また、大学の職員も招いて各学科・コースの特色に関する説明を受け、進路に対する意義付けを行う。 ・3年生に附属高校推薦に関する内容・手続き等について説明する。また、年間を通してきめ細かな進路相談を実施し、自分の目的を達成できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部・学科について理解できたか。また、進学に対する意識が高揚したか。 ・推薦制度および入試の手続きは理解できたか。また、全員の進路指導は適切であったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年次、3年次と継続して進路意識の向上が図れた。 平素より実技担任や保護者との連携を取り、きめ細かな進路指導を行った。ヴィルトゥオーゾコースへの挑戦者も多く、最後まで緊張感が続いた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 早い段階で、実技担任や保護者とのコンタクトを密にする。 大学のコースや入試のシステムは、その都度確認することが大切である。
5 安全管理 学校環境の点検	<ul style="list-style-type: none"> ・校内巡回を通して環境点検を定期的実施する。内容は照度計測、飲料水の管理、通学時及び学校行事前の安全点検とする。また、個人の安全管理として事故防止教育に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内、学外活動における環境点検は適切に実施できたか。 ・安全に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間校舎を高等学校が中心に使用している。施設の不具合が生じた時は、その都度対応した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の安全点検をさらに強化する必要がある。
6 保健指導 (1)疾病予防	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病に対する注意を喚起するために、「保健室だより」を毎月1回発行する。また、学校行事の事前健康調査を行い、生徒の既往歴や治療状況を把握して、行事中の事故を未然に防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健室だより」の内容が生徒に反映されたか。また、健康調査は計画どおり実施できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健室だより」をよく読んでいて興味深かった点についての質問等もあった。2年生へAED講習を実施し、消防署より生徒へ終了認定証が発行された。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生のAEDの3時間講習会は今後も継続する。
(2)相談活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス・学年を超えた交流を図り、生徒間で励まし合い、支え合って、より豊かな学校生活を送るための場を創る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談、カウンセリングが適切に行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな演奏行事が定着し、生徒同士の意見の相違があっても個々の生徒が乗り切る力を身に着けた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスがあっても上手に乗り越えられる力を身に着けさせる。

7 学校財務	・本校は、武蔵野音楽大学および3つの幼稚園とともに学校法人武蔵野音楽学園の1部門として位置づけられ、法人全体として一体運営されている。武蔵野音楽学園は文部科学省認可法人として毎年、学校法人会計に基づいた決算を行い、会計監査法人の監査を受け、その概要を公表している。平成30年度の決算については平成31年7月より当学校法人のウェブ・サイトに掲載する。	・健全な財務状況が展開されているか。	「基本金組入前当年度収支差額」は支払超ながら、前年度より差額は縮小、外部負債はなく、財務状況は引き続き良好かつ健全である。	A	平成31年度以降も支払超過額をさらに縮小出来るよう努力を続ける。
8 職員研修 (1)全教員会議	・年度当初に学園理事長・校長の講話を受ける。その後、各教科・専攻別に分かれ専攻実技の指導及び教育内容全般について協議を行う。	・年間を通し教育活動がスムーズに展開できるよう周知できたか。	・講師を含む全教職員が一堂に会し、年間計画に基づき指導内容の確認ができた。	A	・教科・実技等、指導上の手続きのさらなる徹底を計る。
(2)高校研修会	・年度末に職員研修会を実施し、教育活動全般について総括する。また、武蔵野音楽学園の全職員に対し理事長・校長から講話を受ける。	・教育活動推進のための具体的な対応策が示されたか。	・教育活動、校務運営、生徒募集、授業展開等、多くの具体策が示された。	A	・多様な教育状況に対応するため、習熟度別学習の拡大を検討する。
9 広報活動 (1)小中学生のための 高校説明会	・年3回、5月9日11月の日曜日に入間キャンパスにて小中学生を対象に模擬授業・体験レッスンを実施する。	・参加者に教育活動・授業内容について周知できたか。	・ガイダンス及び体験レッスンを通して本校の概要及び教育内容を周知できた。	B	・ガイダンスについてはさらに内容を検討する。
(2)オープンキャンパス	・オープンキャンパスを、江古田キャンパスで6月17日(日)、8月26日(日)、12月9日(日)、3月24日(日)に開催する。	・生徒・保護者に対し、教育内容・入試全般について周知できたか。	・ガイダンスでは本校の概要及び教育活動、入試内容を十分に周知できた。	B	・個別相談については調整を要する。
(3)受験講習会	・受験講習会は、受講生の要望に応え年3回開催する。①夏季8月1～3日 ②夏季8月27～29日 ③冬期12月24～26日に実施する。	・専攻実技指導および入試に関わる個別相談は十分に対応できたか。	・参加者に対し丁寧な実技指導を展開し、個別相談にも親身に対応できた。	B	・講習会は、日程の組み方等、さらに検討を要する。
(4)中学生のための 音楽基礎講座	・中学生を対象に、音楽基礎講座を4月から年10回開催する。当日は体験レッスンも設定し、音楽実技の基礎的な向上を図る。	・受講生に対し、丁寧な対応のもと、各講座とレッスンが展開できたか。	・講座の聴音については個別指導を展開した。	B	・ワンポイントレッスンや講義内容のさらなる充実・改善を図る。
(5)学校説明会	・県外での学校説明会は、各県同窓会とタイアップし、大学との合同で開催される。高校は今年度6箇所(福岡、高松、名古屋、長野、盛岡、金沢)に参加する。	・生徒・保護者に対し本校の教育内容・学習状況・施設設備等、十分に周知できたか。	・各県同窓会役員との協力の下、教育活動及び入試内容を説明し、本校の特色や入試状況を周知することができた。	A	・今後さらに大学同窓会と連携した広報活動の充実を図りたい。